

中学校3年間を見通した国語科の指導内容とキャリア教育

(第2学年)

1 単元 短歌を味わう

2 ねらい

短歌に歌われている情景や作者の思いを想像し、内容や表現の仕方について考えたことや感じたことを伝え合う。

3 本実践とキャリア教育

短歌の鑑賞では、自分の知識や経験と結び付けて感じ取るため、読み手によって解釈や着眼点に差が生まれることが多い。様々な角度から魅力を読み取った鑑賞文を、グループで交流し合うことで、友達との考えや感じ方の相違点や共通点に気付き、よさを感じ取っていくことができる。このことは、キャリア教育の「基礎的・汎用的能力」である「自己理解・自己管理能力」「人間関係形成・社会形成能力」の育成につながっていくと考える。

4 全体構想

※学習指導要領との関連

C 読むこと

(考えの形成、共有)

オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。

(言語活動例)

イ 詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。

5 本時の学習

(1) ねらい

同じ短歌を選んだ者同士で鑑賞文を読み合い、自分との相違点や共通点を見付け、よさを伝え合う。

(2) 展開

過程	学習活動と内容	指導上の配慮事項と評価
導入	1 自分が選んだ短歌を2回読む。 2 グループを確認し、分かれる。	○ 1人しか選んでいない短歌は、似たテーマでグルーピングする。
展開	3 それぞれの鑑賞文を発表し合い、相違点や共通点、よさをワークシートに書く。 4 ワークシートに書いた内容を発表し合い、解釈や着眼点の違いやよかったところを伝え合う。	◎ 解釈や着眼点の相違点、共通点を見付け、友達の考えに共感できたり、疑問に思ったりしたことを書かせる。 ☆ 解釈や着眼点の違いによる、感じ方の違いを知り、互いのよさを伝え合うことができたか。
まとめ	5 全体での発表に向け、交流の内容をまとめ、代表となる鑑賞文を決める。	◎ 短歌の鑑賞で共通していたことや違っていたことをまとめさせる。

○ 配慮事項 ◎ キャリア教育の視点から特に重要なこと ☆ 評価

授業の様子

